

炎症疾患や感染症の病態は、①病原体への暴露、②血管・免疫系の活性化、③炎症性サイトカイン産生、④血管透過性亢進、のプロセスを経て誘導される。これまで①-③のプロセスを抑制する治療薬として、抗生物質、ステロイド、抗サイトカイン薬など優れた医薬品が開発されてきたが、治療できない疾患が未だ存在する。我々は疾患治療のさらなる効率化を目指し、未だ治療薬の存在しない、血管透過性亢進（プロセス④）を抑制する薬の開発を目指している。現在、血管透過性の抑制を介して、広範な炎症病態を抑制するタンパク質に着目し、作用メカニズムの解析と調節分子の開発を進めている。